

CONTENTS

- P1 第78回 国民スポーツ大会SAGA2024 警衛
- P2 警視庁機動隊 新隊員合同訓練警備部長査閲
- P3 北海道警察機動隊フェア ～北海道支部が参加
Member's Lounge 「日本国の誕生と飛鳥時代の遺跡
～明日香の魅力と歴史的な位置づけ～」徳田誠志氏

発行所 一般社団法人
機動隊員等を励ます会
〒103-0025 東京都中央区
日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館
発行人 中村 真一
TEL 03(5614)0710
FAX 03(5614)0719
http://www.hagemashi.com
jimukyoku@hagemashi.com

令和6年
11月号

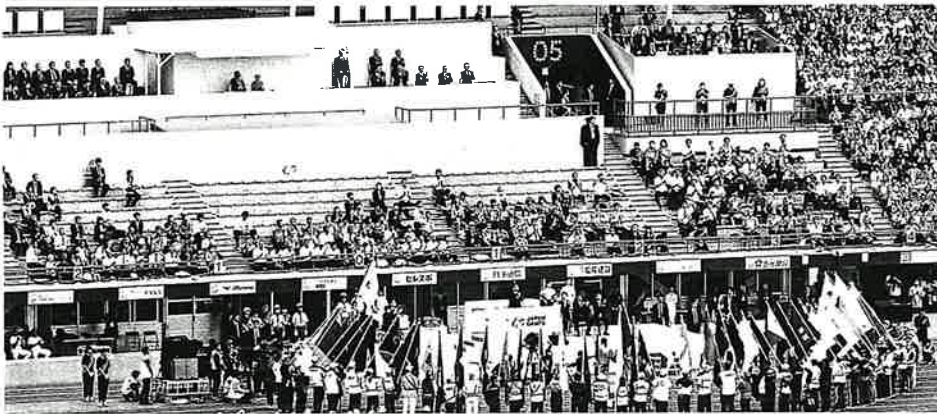
はげまし

For the Riot Policemen
& Members

— No.579 —

第78回 国民スポーツ大会 SAGA2024 警衛

天皇皇后両陛下、即位後初めて佐賀県へ



総合開会式御臨場中の両陛下とロイヤルボックス周辺の状況



お泊所御滞時の両陛下



お別車中で移動される両陛下



お列の状況

去る10月5日、佐賀県佐賀市のSAGAスタジアム(陸上競技場)にて国民スポーツ大会(旧・国民体育大会)「SAGA 2024」が開かれ、総合開会式に天皇皇后両陛下が御臨席にいられた。両陛下が揃って佐賀県をご訪問されるのは、皇太子ご夫妻として2002年に嬉野市で行われた「全国育樹祭」の日以来、22年ぶりとなる。佐賀県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊が警衛に当たった。

両陛下は、5日正午すぎに特別機で佐賀空港に到着、空港に集まった地元幼稚園児などの歓迎に笑顔で手を振られ、午後3時ごろに同陸上競技場に入られた。

開会式には約3千人が出席し、両陛下はロイヤルボックスからそれぞれの地域の特色をアピールして入場する選手たちを笑顔で見守り拍手を送られた。

天皇陛下はあいさつに先立ち、1月に発生した能登半島地震と、各地の大雨や台風による犠牲者に深い哀悼の意を表し、被災者が「一日も早く安心して暮らすことができるようになるよう、復旧・復興が進むことを願っております」と述べられ、そのうえで、「参加される選手の方々が、日頃の練習の成果を十分に発揮されるとともに、お互いの友情を育み、地元佐賀



県外からの派遣部隊の車両



お泊所での活動



空港歡送迎送線における沿道部隊

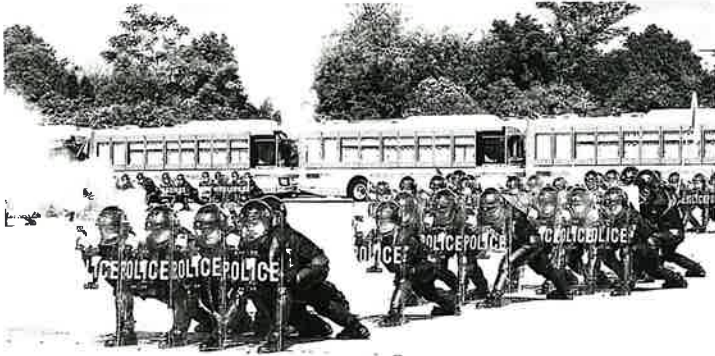
県の皆さんとの交流を深められることを願っております」とお言葉を述べられた。

国民スポーツ大会は改正スポーツ基本法に基づく名称変更後、冬季大会などは行われたが、本大会の開催は初めて。各部隊員は会場周辺での交通規制や歓迎者の安全確保、不審物や不審者の警戒等を行い、大きなトラブルなく任務を遂行した。

～ 今月の賛助広告会員 ～

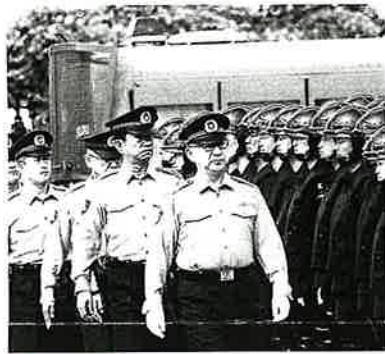
- 日鉄ドラム(株)
- 日鉄物産(株)
- 日鉄エンジニアリング(株)
- 住友商事(株)
- 岡田運輸(株)
- 山陽特殊製鋼(株)
- 合同製鐵(株)
- 日鉄物流(株)

警視庁機動隊 新隊員合同訓練警備部長査閲



遊撃部隊活動要領

規制隊形及び連鎖隊形の作り方



聖成警備部長(写真中央)



デモ行進規制要領



暴徒制圧要領

機動隊配属の新隊員約520名磨いた警備技術を披露

秋の異動で、約520名の新隊員が警視庁機動隊に配属された。去る9月26日には江東区夢の島総合警備訓練場にて、新隊員による合同警備訓練が実施された。新隊員らは警視庁警備部の幹部の前に、基礎的な警備技術である連鎖隊形、遊撃部隊活動要領、暴徒化したデモ隊への対応等の訓練に取り組んだ。

規律を重んじ、強さと優しさを兼ね備えた部隊へ

訓練を査閲した聖成電太警備部長は終了後に、「実質15日間という短い期間でここまでの練度に仕上げた皆の努力を大変頼もしく思う。また、機動隊の存在意義を強く感じた。この機会に私から二点お願いしたい。

一点目は機動隊員として規律を重んじ、いかなる時も誇りと使命感を持ち続けてほしいということ。我が国の歴史的事象の中には常に統制の取れた警視庁機動隊の活躍・奮闘があった。私は、機動隊は規律の保持が特

に重要と考える。規律は組織の生命線。規律の取れた強靱な部隊であればあるほど規律は重んじられ、厳正に守られている。言い返せば、規律が守られていない部隊は精強な部隊とは言えない。

機動隊は首都東京のみならず、日本全国の治安を担い、その第一線で警備に従事するが、強靱でなければ治安を守れない。皆には多くの先輩たちが血と汗を流して作り上げてきた輝かしい歴史と伝統、規律の重みを胸に刻み、日々鍛錬に励み、強靱な部隊の一員として治安の維持に当たってほしい。

二点目は仲間との絆を大切にしてほしいということ。温かさや優しさは強靱な部隊の基礎である。皆は着隊以来、仲間たちと励まし、支えあいながら厳しい訓練を乗り越えたと思う。皆が今感じている達成感、連帯感こそが、あらゆる危機や難局を乗り越えるための原動力。ぜひ仲間との絆を大切にし、お互い

が全幅の信頼を寄せ、厳しい現場を乗り越えられる関係を築き、強さと優しさを兼ね備えた部隊を作り上げてほしい。

また、前方を見てほしい。皆が入隊まで所属した警察署の幹部が激励を送るべく駆けつけている。皆の奮闘する姿に惜しみない拍手を送り続けていることを忘れないでほしい。

本年は多くの災害に見舞われる年となった。災害時、皆の強靱な体力・精神力そして誇りと使命感は何よりの力となる。我々の持ち場は派手な陽の当たる現場ばかりではない。しかし崇高な使命を決して忘れることなく、任務を確実に果たしていただきたい」と訓示した。

首都東京を守るための最後の砦の一員として、新たに加わった新隊員たち。彼らの成長と今後の活躍を祈念する。

→ 今月の賛助広告会員 →

- 日本製鉄(株)
- 太陽サカコー(株)
- (株)エイヴイ
- 明鋼材(株)
- (株)ミック
- 平和農産工業(株)



沿道配置における捕捉要領

北海道警察機動隊フェア

北海道支部が参加

去る9月16日、清々しい秋空のもと、北海道警察機動隊の隊舎前及び庁舎内にて機動隊フェアが行われた。北海道警察幹部、機動隊員及びその家族、関係先等総勢約250名が集まるなか、当会からは北海道支部の柳岡法篤氏（日本製鉄㈱北海道支店長）と島津俊彦氏（日本製鉄㈱北海道支店 鋼材室長）が参加した。

当日は、警備訓練、警察犬訓練、レンジャー訓練、警察術科（柔道・剣道・逮捕術）訓練、子ども縁日などが行われ、当会から支援品として、子ども縁日用のおもちゃ等を寄贈した。



音楽隊による演奏



柔道制圧訓練



子ども縁日の様子



子どもたちvs隊員による綱引き



子どもたちと隊員の剣道訓練

今年のフェアは、音楽隊の演奏、ヘリコプターからの降下訓練等訓練実演の見学をはじめ、子どもたちも参加した各種術科訓練など盛りだくさんの内容であり、参加者に好評だった。来年も引き続き実施されることを祈念する。

1. 多様な古墳の形

陵墓といふと、皆さんがまず思い浮かべるのが、日本一大きな前方後円墳である仁徳天皇陵だと思えます。私は宮内庁で、このような古代の天皇陵をどう保全するかという仕事に携わってきました。古墳は千年以上を経た土でできた構造物です。お濠の水によって墳丘が浸食されたり、台風で木が倒れたりすると、御陵を痛めてしまいます。それを防ぐための調査研究をしながら、御陵をお守りする仕事をしてきました。

長い皇室の歴史から見ると、陵墓は前方後円墳だけではなく、いろいろな形があります。少し紹介をすると、京都府伏見区にある後深草天皇のお墓である深草北陵は、お堂の形をしています。やや大雑把な話ですが、室町時代の天皇は概ねこの深草北陵に合葬されているということになっています。知らない人が見れば、お寺かと思うでしょうが、これも御陵の一つで、お堂の床下に遺骨を納めています。

続いて江戸時代の天皇后のお墓として、京都府東山区にある泉山陵墓があります。皇室の御寺と呼ばれる泉涌寺にあり、一般の方にご参拝いただくのは門の方となり参拝ですが、中には九重塔などの石塔がたくさん並んでいます。

Member's Lounge

機動隊員等を励ます会 9月の朝食講演会

日本国の誕生と飛鳥時代の遺跡

「明日香の魅力と歴史的位置づけ」

陵墓とは、皇室の墓所のこと。今も各地に歴代天皇の墓所としての古墳が残っている。今回は、宮内庁にて古墳時代の陵墓の調査研究に従事した徳田氏をお迎えし、古墳の変遷から日本という国がどのように形作られてきたかをご講演いただいた。



(9月19日のゲスト) 徳田誠志氏

関西大学・国士館大学 客員教授

プロフィール

1962年 岐阜県生まれ

経歴

1989年 関西大学大学院博士課程後期修了。博士(文学)。

日本学術振興会研究員を経て、1990年、宮内庁警備部陵墓課に入庁。古墳時代陵墓の調査・研究に従事。

2022年、宮内庁を定年退官。

現在は関西大学、国士館大学の客員教授として、畿内にある大形前方後円墳の研究を継続するとともに、後進の育成に従事。

2. 倭国の誕生

本日の講演のタイトルは「日本国の誕生と飛鳥時代の遺跡」としています。私の専門である古墳時代の天皇陵の変遷から、日本という国の成立を考えてみたいと思います。

まず、第一段階として倭国の誕生の経緯を見ていきます。冒頭にお話した仁徳天皇の時代、お墓の形は鍵穴形の前方後円墳です。古墳時代という時代の開始は諸説ありますが、研究者が最も古い前方後円墳だと考えているのが、第7代天皇孝靈天皇の皇女(倭迹迹日百襲姫命)のお墓です。私たちは大市墓と呼びますが、これが奈良県桜井市にあります。古代史に興味のある方は箸墓古墳という名前でご覚えている方も多々います。これが前方後円墳の

最初の姿だと考えています。私も何度か調査に残りましたが、非常に綺麗な形で残っています。全長280mほどあり、西暦260、270年ごろに作られたと考えられています。したがって前方後円墳は3世紀中頃に我が国に登場したと言えます。その後、前方後円墳は全国に広がり、4世紀から6世紀にかけて日本各地に作られるようになります。最も北にあるのは岩手県奥州市にある角塚古墳、南には鹿児島県に横瀬古墳や唐仁大塚古墳があります。

このように東北の奥州市の王様に対して同じ前方後円墳という形が作られていることは歴史的に非常に重要であり、東北南部から九州鹿児島まで、同じ葬送儀礼を行っていたということです。古墳は亡くなった方を葬る場所ですが、もう一つの意味として、次の王様が誕生する場でもあります。祭政

← 今月の賛助広告会員 →

- 日鉄建材(株)
- 山文(株)
- 芝本産業(株)
- 国見山(株)
- 三榮商會(株)
- 新ケミカル商事(株)
- 富士興業(株)

PA4777

(P3からつづく)

一致の古墳時代において、同じお祀りを東北南部から九州まで行っている集団が存在する。つまり同じ宗教観を持った集合体の成立です。この集合体が「倭」です。この倭という集合体が誕生してきたことが、前方後円墳の広がりが示す歴史的な意義だと考えています。

そして、倭国の王様の中から登場する大王と呼ばれる人々たちのお墓として、のちに仁徳天皇陵や履中天皇陵という巨大な前方後円墳が大阪湾沿岸に作られていきます。このあたりにはほかにも大きな前方後円墳がいくつもあり、百舌鳥古墳群と呼ばれます。非常に海に近いところに倭国の大王のお墓が作られたわけですが、その理由はなんですか。これらの古墳が作られた5世紀中頃、大阪湾には国内外からいろいろな人が船で入ってきたかと思えます。巨大な大王の墓を見れば、「倭国の大王は非常に大きな力を持っている」と感じたでしょう。それを見せつけるためのお墓であったと言えると思います。

5世紀に朝鮮半島や中国大陸から多くの人がやってきたのは、外交と交易のためです。東アジア社会の中で倭という国が認識され始めましたが、その国が交易をする最も大きな理由は朝鮮半島を通じて鉄を入手するためだったと考えています。倭国の時代は「鉄は国家なり」という言葉が大変ふさわしい時代です。鉄は開墾の道具や武器、武器として加工され非常に大きな影響を社会に与えました。鉄を入手するために倭国として東アジア社会に登場した集団こそが、日本国成立の第一段階と考えています。

3. 日本国成立の誕生

続いて、第二段階は日出づる国の誕生です。6世紀から7世紀にかけては推古天皇と聖徳太子の時代です。この時代は前方後円墳がなくなり、四角い形の方墳に変わりました。聖徳太子は遣隋使の派遣を行ったことで有名です。使節は607年に「日出づる処の天子」書を日没する処の天子に致す」という国書を持つ船に乗り、3ヶ月かけて隋に行つたとされています。聖徳太子が何を指したかという、対等な外交の開始です。

実は隋への派遣は600年が最初だったと言われますが、この時には国書を持たずに行き、うまくいきませんでした。諸説ありますが、「倭」には、中国を中心としたときの辺境の国という意味があるとされています。そこで倭という国から脱却するために、先の国書が大きなき意味を持っていたと考えられています。

この600年から607年の間に聖徳太子が何を指したかという「十七条の憲法」の制定です。第3条には、「承認必謹」という言葉を書いています。「認(承認)を受けては必ずつしめ」という意味で、詔というのは天皇の命令のことです。天皇の詔は絶対です。守れと書いてあるわけですから、第12条は「国非二君」、国に二君なしと書いてあります。つまり、この国を治める代表はただ一人ということなのです。この時にもまだ天皇という言葉を使っていないかもしませんが、それまで各地に大王がいた状態から脱却し、天皇を頂点とする政治体制を確立することによって、東アジア社会の中で隋と対等な外交関係を結んでいくのです。倭という国から次の段階に進まなければならない、これが聖徳太子の目指した国家像だと考えています。

このような政治体制を作り上げていく中で、お墓の形も変わっていきます。聖徳太子の父である第31代用明天皇のお墓は大阪府の太子町にある用明天皇陵ですが、東西65m、南北60mの非常に大きな四角い形です。専門用語では方墳と言います。周囲には空濠が巡っており、四角い三段の土壇を重ねた二段築成となっています。

そして同じ太子町にある第33代推古天皇のお墓も、東西59m、南北55mの非常に大きな方墳です。なぜ前方後円墳をやめて、この四角いお墓にしたのでしょうか。それは、前方後円墳を築くことにより日本各地の王様が結びつく社会は、東アジア社会で見ると時代遅れな政治体制とみなされたからと考えられます。東アジア全体で大王の墓は四角い形をしているため、前方後円墳という日本独自の形はやめて、東アジア社会で通じる四角いお墓にしようということだったと考えられています。

4. 日本国の誕生

第三段階になると、いよいよ日本国の誕生となります。これは7世紀後半から8世紀にかけての第40代天武天皇・第41代持統天皇の時代です。天皇のお墓は八角形となつていきます。

この時代の大きな変化としては、「天皇」という言葉が実際に考古学的な証拠を持つて使われたことです。奈良県の明日香村にある飛鳥池遺跡から出土した木簡に、天皇という文字が認められます。同じ地層からは西暦677年に相当する天武6年と書かれた木簡も出土しました。つまり天武天皇のご即位から6年経った時には、天皇という言葉が確実に使われていたこととなります。

びつくりではなく、法律によって国を治めていく姿がこの時期に出来上がってきたのです。

天武・持統天皇が合葬されている明日香村にある陵が、5段築成の八角形の形をしています。そして第42代文武天皇のお墓は、明日香村の中尾山古墳が有力な候補となつていきます。2020年に明日香村と関西大学で史跡整備のための調査をすると、確かに八角が確認できました。

なぜ八角形なのかというと、まず天皇が即位の時に登る高御座が八角形をしています。そして八角の意味ですが、「一國」という時の異体字は「一國」と書いて「くに」と読み、「八方」と書いて「くに」と読み、隅々まで納めているという姿を八角形が表していると考えます。

なお、中尾山古墳が古墳の形をした最後の天皇のお墓となります。これが最後になるとはどういうことかという、古墳の形は葬られている人の身分を示すものだと考えています。一方、律令という文章で書いた法律によって身分を示す必要がなくなるということ。これが、古墳がなくなつた大きな理由だと考えています。

5. 世界遺産候補地として

以上、前方後円墳から方墳、八角形墳と、お墓の形の変遷と日本という国ができてくる姿を見てきました。本日のもう一つの話題ですが、現在、奈良県の明日香村を中心に広がる「飛鳥・藤原の宮都」を世界遺産にしようという動きがあります。なぜ世界遺産として重要なかという、この時期に日本という国の姿が定まってくることを示している遺産と考えるからです。

一つ前の時代の世界遺産は仁徳天皇陵がある「百舌鳥・古市古墳群」です。ただ、この時はまだ倭という国がまとまってきた頃です。奈良の都も世界遺産になっていますが、奈良の都は日本という国が完成した時代だと言えます。

律令が広く行き渡つた時代が奈良時代であり、その間に入ってくる時代が、「飛鳥・藤原の宮都」の時代なのです。

ですから、世界遺産への登録は、決して新たな観光地を作るために行うのではなく、世界に対して日本という国がどのようにできたのかを、実際に残っている遺跡によって明らかにするものです。そして日本という国ができてきた姿を、未来永劫に守っていくことが「飛鳥・藤原の宮都」を世界遺産にする本来の意義だと考えています。

9月9日(この「飛鳥・藤原の宮都」を令和6年度の「飛鳥・藤原の宮都」を令和6年度の「飛鳥・藤原の宮都」に登録する候補として、ユネスコに登録を求めたことが文化庁から発表されました。今後の動きとしては、来月1月末までに正式な推薦書をユネスコ本部に送り、推薦書が受理されると2026年夏頃に開かれるユネスコの世界遺産委員会決定していくことになりま。ぜひ登録を見守っていただけたら幸いです。

戸時代の皇室のご葬儀関係を一手に引き受けたような形となつており、泉涌寺の裏山にまとめてお墓が築かれたとされています。その後、築天とされています。もう一度昔の陵墓の姿に戻そうということ、墳丘のある高塚式の陵が再度作られたのだらうと思えます。

明治天皇が京都に御陵を作られていた一方で、東京に明治神宮があるのはなぜですか。A 京都に御陵が作られたのは、明治天皇のご意志であったという話が伝わっています。明治天皇は京都でお育ちになっていますから、できれば父祖の地に帰りたいということだったので、東京に明治神宮を作られたのではないのでしょうか。明治神宮については専門外になりますが、おそらく明治天皇を顕彰するためのお祈りの場が東京にもほしかったということかと思えます。首都の東京で、明治天皇を大切にすることに、明治神宮が東京に作られていったのではないかと考えています。

Q 明治天皇が京都に御陵を作られていた一方で、東京に明治神宮があるのはなぜですか。A 京都に御陵が作られたのは、明治天皇のご意志であったという話が伝わっています。明治天皇は京都でお育ちになっていますから、できれば父祖の地に帰りたいということだったので、東京に明治神宮を作られたのではないのでしょうか。明治神宮については専門外になりますが、おそらく明治天皇を顕彰するためのお祈りの場が東京にもほしかったということかと思えます。首都の東京で、明治天皇を大切にすることに、明治神宮が東京に作られていったのではないかと考えています。

Q 深草北陵や泉山陵墓地のよううに複数の天皇が安置されている陵墓は、天皇一人のものとのような違いがありますか? A 深草北陵には鎌倉時代から室町時代にかけて12人の天皇が埋葬されています。室町時代の天皇のお墓は非常に小さいものがあります。これは経済的なことも含め、皇室が非常に苦しい時代だったと考えられ、火葬をして合葬する形になつてきているのだと思います。また、泉山陵墓地は泉涌寺にあります。このお寺が江戸時代の皇室のご葬儀関係を一

今月の賛助広告会員
日鉄鋼板(株)
藤田金屬(株)
五十鈴(株)
岡部(株)
草野産業(株)
大阪製鐵(株)
(一社)機動隊員等を励ます会
北海道支部

編集後記
9月26日の警視庁機動隊新隊員合同訓練警備部長査問では、約520名の新隊員が整然と並列し、また機敏な動作で訓練の成果を披露していました。
最近の若い人は、このような厳しい職業につきたがらないので、警察の採用も難しくなっていると聞いていました。まだまだしっかりした若者が多くいると頼もしく感じました。
(励ます会事務局)